

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

〈一般〉▽「日本の原爆」(保坂正康)▽夜回り先生いじめを断つ(水谷修)▽樹木図鑑(鈴木康夫)▽葉っぱで気になる木がわかる(林将之)▽葉でわかる樹木625種の検索(馬場多久男)▽光園伝(沖方丁)▽清須会議(三谷幸喜)▽梅ちゃん先生上(下)(尾崎将也)▽ソロモンの偽証第1部《事件》・第2部《決意》・第3部《法廷》(宮部みゆき)▽64ロクヨン(横山秀夫)▽母性(湊かなえ)〈児童書〉▽としよかんねずみ2

■みずうみ読書の家

〈一般〉▽エンジェルフライト(佐々淳子)▽選ぶ力(五木寛之)▽ことり(小川洋子)▽歓喜の仔

ひみつのともだち(タニエルカーク)わたなべてつた訳(いけつゾロリのじこくりょう)(原ゆたか)▽いけつゾロリのでんごく(原ゆたか)▽どんぐりむらのおまわりさん(なかやみわ)▽こもりぼうやとハロウィン(ダイアン・メイヤー)▽ギオン・ケンドヘル(ひまわりのおか(松成真理子)▽かにのしょうばい(新美南吉)▽いっしょだよ(小寺卓矢)



今月の1

「コロポックル物語
第1巻 だれも知らない
小さな国」
佐藤さとる作

コロポックルとは、アイヌの伝承に登場する小人で、アイヌ語で、一般的には「落(ふき)の葉の下の人」という意味。

昭和60年2月発行以来ずっと読み継がれている、日本を代表するファンタジーの名作のシリーズ第1巻。

あなたは夢をみますか？夢を持っていますか？そんな人はこの本の虜(とりこ)になるでしょう。



〈上・下〉(天童荒太)▽その時

でサヨナラ(山田悠介)▽〇に十の字(佐伯泰英)▽路(吉田修一)

▽のろのろ歩け(中島京子)▽孤愁(新田次郎・藤原正彦)▽母性(湊かなえ)▽あすなる物語(井上やすし)▽血は欲の色(澤田ふじ子)▽北海道温泉図鑑(小野寺淳子)▽大津波を生きた(高山文彦)▽池上彰の政治の学校(池上彰)

影

〈ロータリー文庫〉▽行ってみよう道央の地形と地質(前田敏嗣)▽地球驚異の自然現象(サイモン・ラグ他)▽東日本大震災教職員が語る子どもいのち未来(宮城県教職員組合編)▽絵とき地震による液化化とその対策(全国地質調査協会連合会)▽東京の自然史(貝塚爽平)

●開館時間

午前10時より午後4時20分

●2月休館日

7日・11日・14日・21日・28日

3月7日・14日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎ 76・2100

みずうみ読書の家 ☎ 75・4702

●お詫び

1月号で、12月の休館日を掲載してしまいました。お詫びいたします。

わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会 一月定例会より】

過ぎゆける日びの早さを嘆けども

近づく春には心待をり

紅白の歌を聞きつつ娘が選ぶ

初茶席に着る着物いくつ

火にぬくみておれば何時しか夢の

界われより若き母に会いたり

諸もろと泣いて笑ってふところに

いのち生きにし新春^{はる}をむかへて

ことしこそ一日一首を作らむと

心に誓ひし巳年元旦

俳句

【あぶた俳句会 一月定例会より】

軒つららスコップ一振り仕事終ゆ

頬被り街より睨む有珠の山

女系なり話しの尽きぬ小正月

一年の計定まらず小正月

雪晴や有珠連山を窓に嵌め

メモ帳に予定増えゆく小正月

北島 加代

元田 フジ子

山木 孝

大西 芳子

太田 智

那須 伶子

小笠原 勇

井村 育子

菅原 敏子

矢野 知子

三瓶 修

